

東海大学医学部付属病院にて

2022 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の期間に、当院形成外科において腹部穿通枝皮弁 (DIEP 皮弁) を用いた乳房再建術を受けた患者さんおよびご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

\*\*\*\*\*

[研究の実施について]

本研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、通常診療の際に取得された術中画像 (インドシアニングリーン蛍光造影画像および赤外線サーモグラフィ (IRT) 画像) と診療情報を用いて、皮弁の血流状態について解析を行う後ろ向き観察研究です。

患者さんの個人情報 (氏名、生年月日など) はすべて削除し、個人が特定できないよう加工したうえで研究を行います。研究成果は学会・論文で発表される場合があります。

[参加を希望されない場合]

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

[研究の概要]

対象者：2022 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に、東海大学医学部付属病院形成外科で腹部穿通枝皮弁 (DIEP 皮弁) を用いた乳房再建術を受けた方

研究課題名：赤外線サーモグラフィによる皮弁血流灌流域評価法に関する研究

倫理審査番号：25R207

研究期間：許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日

26-414

[本研究の目的・意義]

本研究は、乳房再建術における皮弁の血流状態をより正確に評価するために、赤外線サーモグラフィ (IRT) がどの程度 ICG 蛍光造影画像と一致するかを検討することを目的としています。これにより、より安全で精度の高い皮弁評価方法の確立が期待されます。

[使用する資料・情報の例]

- ・ 患者情報 (年齢、性別、診断名、既往歴)
- ・ 手術情報 (手術時間、皮弁種類、皮弁大きさ、皮弁重量、吻合血管・術中合併症、ICG 動画・IRT 像)
- ・ 術後情報 (術後合併症、入院期間、)
- ・ 臨床写真 (術前・術中・術後)

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後 5 年後もしくは成果発表から 3 年後の何れか遅い方に破棄します。

#### 【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

#### 【研究資金・利益相反<sup>りえきそうはん</sup>について】

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。  
現在、公開すべき重要な利害関係はありません。

#### 【研究組織】

研究機関名：東海大学付属病院

研究責任者所属・氏名：形成外科 根本 仁

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

#### 【お問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2420

研究責任者（代表者）：形成外科 根本 仁

#### 【更新履歴】

2026 年 3 月 12 日 第 1 版